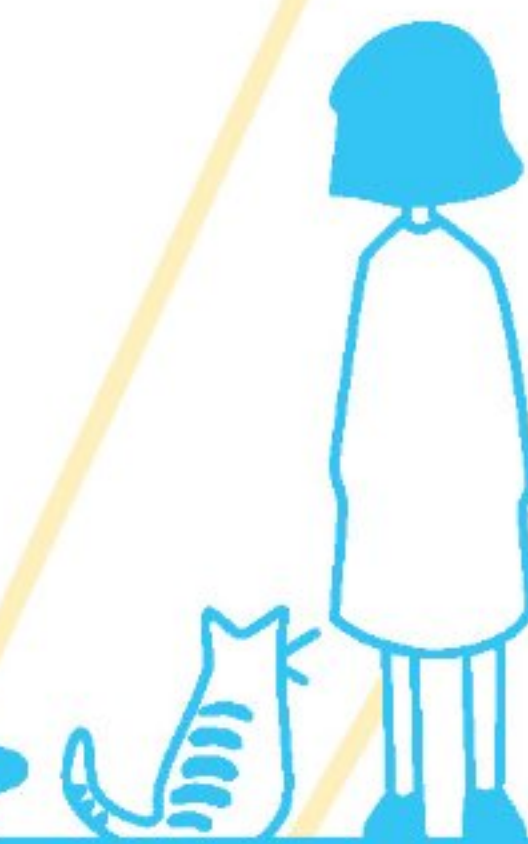


横浜シネマリン
リニューアル

10周年

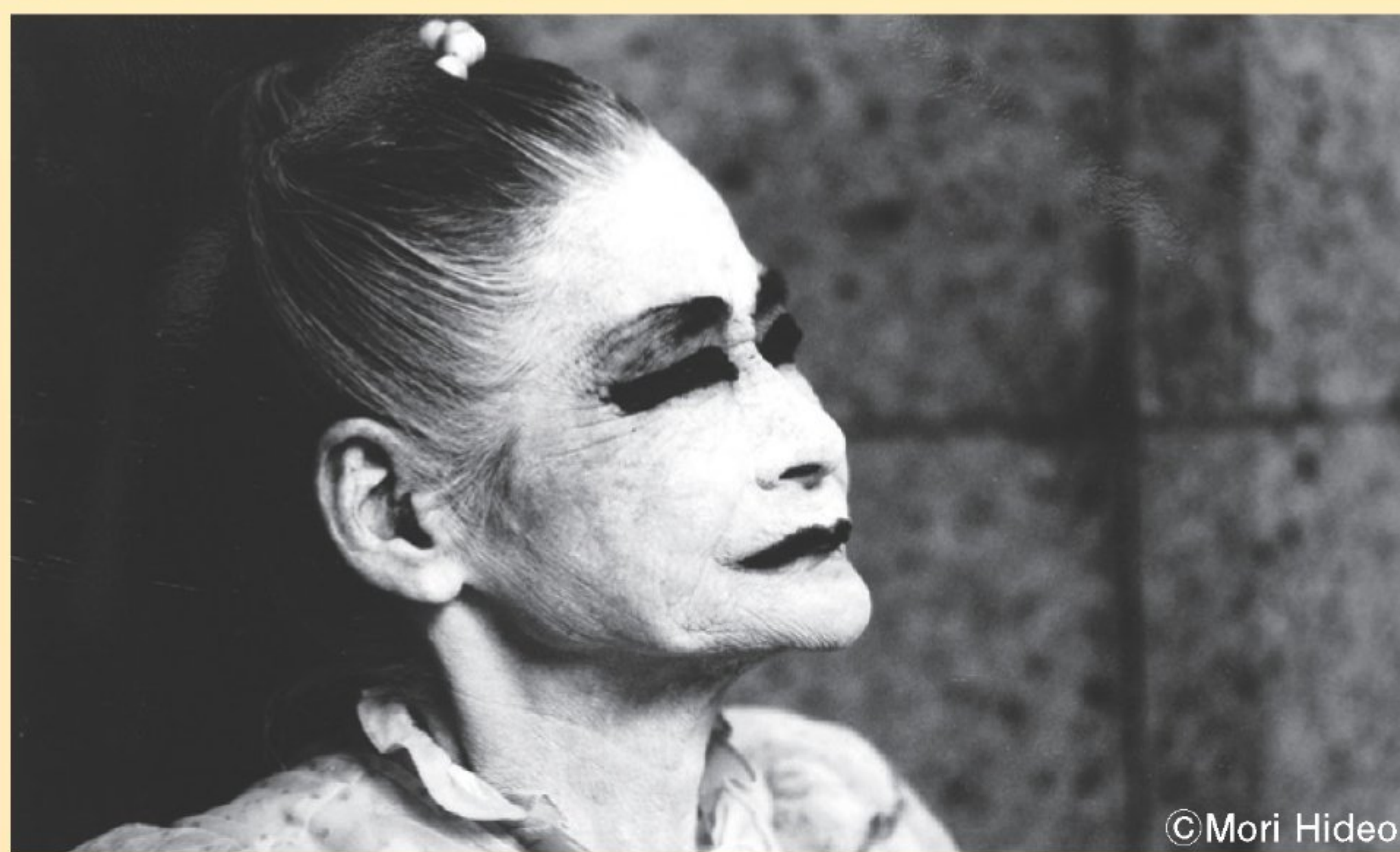


今この映画が観たい!

— 横浜の映画人とともに祝う7日間 —



©「キャッチボール屋」製作委員会・ビターズ・エンド/トランスフォーマー/ハビネット



©Mori Hideo



©DOI Toshikuni 2024



©2022 全日本建設運輸連労働組合



©2024 Group Low Position



©たかはしそなた



©1968 TOHO CO.,LTD.

大崎章『キャッチボール屋』

中村高寛『ヨコハマメリー』

土井敏邦『ガザからの報告』

土屋トカチ『ここから「関西生コン事件」と私たち』

飯田基晴『わたしを演じる私たち』

たかはしそなた『上飯田の話』

岡本喜八『肉弾』

2024. 12.7 土 - 13 金

横浜シネマリン

横浜シネマリン
リニューアル
10周年

今この映画が観たい！
— 横浜の映画人とともに祝う7日間 —

横浜シネマリンは、1964年6月12日「イセザキシネマ座」としてスタートし、1989年(平成元年)「横浜シネマリン」に改名、2014年12月12日リニューアル、大手配給チェーンの二番館から、世界中の映画を上映する独立系映画館に生まれ変わりました。2024年はイセザキシネマ座から60周年、リニューアルから10周年の記念すべき年です。コロナにも負けず映画館が残ったことを皆様とともに祝いたく、横浜の映画人が日替わりで登壇する特集上映を企画しました！ぜひご参集ください。

ヨコハマメリー

2005年/日本/92分/35mm

監督・構成：中村高寛 | 撮影：中澤健介、山本直史 | テーマ曲：「伊勢佐木町ブルース」 | 主題歌：渚ようこ | 写真：森日出夫 | イラスト：宇野亜喜良 / 出演：永登元次郎、五大路子、杉山義法、清水節子、広岡敬一、団鬼六、山崎洋子、大野慶人、福寿裕久雄、松葉好市、森日出夫、他

歌舞伎役者のように顔を白く塗り、貴族のようなドレスに身を包んだ老婆が、ひっそりと横浜の街角に立っていた。本名も年齢すらも明かさず、戦後50年間、娼婦として生き方を貫いた。いつしか街の風景の一部となり、「メリーさん」人々は彼女をそう呼んだ。



©Mori Hideo

👉 何度上映しても満席になっちゃう怪物映画！

ここから「関西生コン事件」と私たち

2022年/日本/74分/BD

ナレーション：大塚優子 | 監督・撮影・編集：土屋トカチ | 撮影：江里口暁子 | 制作：全日本建設運輸連帯労働組合 | 取材協力：松尾聖子、吉田修、全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部、組合員の家族のみなさん

「私はやめない」——聖子は静かにそう話した。2018年、空前の労働組合弾圧事件が関西ではじまった。業界ぐるみの大量解雇、そして、警察・検察がつぎつぎに組合員を逮捕していく。家族が引き裂かれ、多くの仲間が去っていった。それでも彼女らが踏みとどまるのは、なぜか。



©2022 全日本建設運輸連帯労働組合

👉 闘う映画館シネマリンには闘う映画が似合う！

上飯田の話

2021年/日本/カラー /スタンダード/モノラル/63分/DCP

監督・脚本・編集：たかはし そうた | 撮影監督：小菅雄貴 | 協力：(株)エビス大黒舎、上飯田ショッピングセンター / 出演：竹澤希里、本多正憲、吉田晴妃、黒田焦子、日下部一郎、生沼勇、荒川流、上飯田町の皆様

横浜市泉区上飯田町、横浜の端っこに実在する上飯田ショッピングセンターが舞台。その土地に暮らす人々のところへ、外部の人がやってくることによって生まれた3つの小話、『いなめない話』『あきらめきれない話』『どっこいどっこいな話』。



©たかはし そうた

👉 上飯田をタイトルにする監督ってどんな人？

キャッチボール屋

2005年/日本/105分/35mm/配給：ピタース・エンド

監督：大崎章 | 脚本：足立紳 | 撮影：猪本雅三
出演：大森南朋、キタキマユ、寺島進、松重豊、光石研

ひょんなことから「キャッチボール屋」を受け継ぐことになった失業中のタカシと、公園で彼の元に集まってきた風変わりな大人たち。キャッチボールを通して皆の想いを受け止めていくうちに、タカシ自身も忘れていた大事なものを思い出していく。



©「キャッチボール屋」製作委員会：ピタース・エンド/トランスフォーマー/ハピネット

👉 みなさん！シネマリンに大森南朋さん来ますよ～！

ガザからの報告

2024年/日本/205分(120分+85分)/BD/配給：リガード

監督・撮影・編集・製作：土井敏邦

パレスチナ取材歴30年の土井敏邦による過去と現在を繋ぐ渾身のレポート！第一部『ある家族の25年』難民キャンプで暮らすエルアクラ家を1993年「オスロ合意」直後から取材、「ガザのパレスチナ人」と一括りにされる一家の素顔。第二部『民衆とハマス』後にイスラエルに暗殺されたハマス指導者とスタッフ、戦闘員、ガザ住民へのインタビューを重ね、ハマスが民衆から乖離していった過程を追う。



©DOI Toshikuni 2024

👉 本特集に土井監督を呼ばずしていつ呼ぶの！

わたしを演じる私たち

2024年/日本/89分/BD

監督・撮影・編集：飯田基晴 | 撮影：常田高志、土屋トカチ | 製作：映像グループ ローボジション | 助成：横浜市地域文化サポート事業・ヨコハマアートサイト2022

2021年に横浜で始まったOUTBACKアクターズスクール。精神疾患を持つ人たちが、自らの実体験を盛り込んだ演劇公演に挑む、その過程に密着したドキュメンタリー。舞台というフィクショナルな空間に各々の人生が凝縮され、演劇はドキュメンタリーへ変容する。



©2024 Group Low Position

👉 ローボジの映画はやっぱりシネマリンでしょう！

肉弾

1968年/116分/35mm/配給：ATG、東宝

監督・脚本：岡本喜八 | 製作：馬場和夫 | 撮影：村井博 | 音楽：佐藤勝 / 出演：寺田農、大谷直子、天本英世、笠智衆、北林谷栄、春川ますみ、伊藤雄之助、小沢昭一、田中邦衛、中谷一郎、高橋悦史、菅井きん

岡本喜八の戦争体験をもとに、終戦間際に特攻兵となった青年の運命を、痛烈な皮肉を込めて描いた代表作。主人公の兵士「あいつ」は、魚雷とともに海に出て敵を待つが、糞尿処理船に救助され敗戦を告げられる。自身の自宅を抵当に入れて製作費を捻出した話は有名。



©1968 TOHO CO., LTD.

👉 本作が好きすぎて100回以上観たという利重さんのレアトーク！

12/7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金
18:15 - 20:00	18:15 - 19:50	16:20 - 19:55	18:15 - 19:30	18:15 - 19:50	18:15 - 19:20	18:15 - 20:11
キャッチボール屋	ヨコハマメリー	ガザからの報告	ここから関西生コン事件と私たち	わたしを演じる私たち	上飯田の話	肉弾
上映後トークゲスト 大森南朋さん(出演) 大崎章監督	上映後トークゲスト 中村高寛監督	上映後トークゲスト 土井敏邦監督	上映後トークゲスト 土屋トカチ監督	上映後トークゲスト 飯田基晴監督	上映後トークゲスト たかはし そうた監督 ★10周年記念イベント★	上映後トークゲスト 利重剛さん(俳優/映画監督)

★10周年記念イベント★12/12(木) 20:00～20:30 恒例〈シネマリンクイズ〉豪華景品あり！

2024年 12月7日(土)～13日(金)
連日トークイベント開催！感謝と祝祭の1週間

入場料：一般1,500円 会員2回目以降・大専・シニア1,200円／高校生以下800円

『ガザからの報告』のみ：一般2,200円 会員・シニア2,000円／大専・高校生以下1,800円 ※会員無料鑑賞対象外

※横浜シネマリン会員はいずれか1作品1回のみ無料で鑑賞いただけます。 ※会員の無料鑑賞券もWeb予約可能です。会員証をお忘れなく！ ※チケットは上映3日前より販売開始(劇場受付9:30、Web10:00)



JR根岸線：関内駅 徒歩5分
横浜市営地下鉄：伊勢佐木長者町駅 徒歩2分
京浜急行：日ノ出町駅 徒歩5分

